

萬國電信條約並國際業務規則ニ關スル各國提案追加第一

「ベルヌ」一九三二年二月一日

一九三二年「マドリッド」萬國電信會議提案錄

追加 第一

提案錄第二篇（單一條約I B 單一條約案ニ關スル

其ノ他ノ提案）

T 一四六二（T一三七四ニ同シ） 米 國

提案TR一三四ニ於テ「國際無線電氣諮問委員會」ヲ「各國際諮問委員會」ニ改ム

T 一四六三 國際航空委員會

一九三一年六月倫敦ニ開催セラレタル第十九回國際航空委員會ノ會議ニ於テ滿場一致ヲ以テ採用セラレタル決議

決議第五六二號

本委員會ハ

氣象電報ノ數字ノ集合ニ於テ脱落セル數字ヲ連絡線ヲ以テ示ス方法ハ特ニ「モールス」抄（手働）ニ依ル送信上種々ノ支障又ハ該連絡線ト♀及♂ナル數字ノ集合トヲ混同スル危險等アリ且此ノ脱落セル數字ヲ×ヲ以テ示ス方法ハ特ニ自動機ニ依ル送信上種々ノ

支障ヲ生スルコトヲ認メ

脱落セル数字ハ連絡線又ハ實数符號×ヲ以テ代ヘ得ルヲ要スト思  
料シ

「ベルヌ」萬國電信聯合ニ對シ五個ノ数字ノ集合ニシテ課金上一  
語トシテ計算スルモノノ中ノ何レノ場所ニモ所要ノ連絡線又ハ乘  
取符號ヲ挿入シ得ルコトニ定ムムコトヲ請求スルコトニ決定ス

提案錄第四篇（國際電信業務規則）B電信

業務ニ關スル其ノ他ノ提案）

T 一四六四 チエツコ

第二十八條第一項末尾ニ左記ヲ追加ス

此ノ通知カ電信ニ依リ爲サルトキハ二十日ノ期限ハ電報中ニ記  
載セラレタル日附ノ翌日ヨリ計算シ始ムルモノトス  
該期限前ニ於テ新料金ヲ實施セムトスル請求ニハ全然應セサルモ  
ノトス

（此ノ新提案ノ結果提案T六三四ハ撤回ス）

（理由） 新料金ヲ期限前ニ實施方請求セラルル場合  
極メテ多シ

右ハ各主管廳ニ於テ所屬局ニ對シ適當ナル  
時日内ニ新料金ヲ豫告スルコトヲ困難ナラ  
シム

T 一四六五 奧地利、洪牙利、瑞西、チエツコ

第四十九條ニ第四項ノ二トシテ左記ヲ追加ス

四ノ二 各主管廳ハ第四十六條ノ規定ノ適用セララルル場合ヲ除キ  
自國ノ電信ノ設備アル地方ニ發着スル電報ヲ該國ヨリ發  
シ又ハ之ニ着スル場合郵便路ニ依リ傳送スルコトヲ禁止  
スルコトヲ待從テ斯カル電報ヲ包有スル書信ニシテ此ノ  
種傳送方法ヲ禁止スル國ヨリ發スルモノハ中繼局ニ於テ  
之ヲ停止スルコトヲ要シ該局ハ其ノ旨發信局ニ通知スル  
コトヲ要ス同様ニ此等ノ國ニ宛ツル電報ニシテ右ノ禁止  
セル郵便ニ依ル再送ノ記事ヲ有スルモノハ中繼局ニ於テ

三

之ヲ停止シ該中繼局ハ其ノ旨發信局ニ通知スルモノトス

(此ノ新提案ノ結果提案T八二五ハ撤回ス)

(理由) CT 第四條ニ從ヒ各大陸主管廳ニ依リ設置セ

ラレタル國際電信通信ニシテ大洋橫斷海底  
線又ハ無線電信通信ノ終點ニ於テ各國ヲ接  
續スルモノノ維持ノ爲各主管廳ハ莫大ナル  
經費ヲ支出セリ從テ各主管廳ノ立場ヨリス  
レハ電報力大陸經過ニ於テ郵便ニ依リ傳送  
セラレ延イテハ關係主管廳ノ電信收入ヲ減  
ゼシムルコトハ認容シ得サルトコロナリ

一四六六 米國諸會社

提案一四六六第九項ノ四ニ於テ「清算又ハ計算」ヲ「清算又ハ訂正」ニ改ム

一四六七 チエツコ

第百二條第一項末段ニ左記ヲ追加ス

尤モ第二十八條第一項ニ依リ定メラレタル期限前ニ於テ新料金ヲ貸施セムトスル請求ニハ應セサルモノトス

(理由) 提案一四六四ノ理由参照

一四六八 埃及

提案一四六八左ノ如ク修正ス

左記略語ヲ追加ス

十二ノ二 REPOV 配達不能、受信人移轉、行先不明

二十三ノ二 RUOSOR 配達不能、家屋、商店、銀行等閉鎖

又ハ RUORO 再開ノ時ニ交付スヘシ

一四六九 總理局

提案一四六九左ノ如ク修正ス

提案録第五六二頁第八項第二節ニ於テ「燃架」ノ次ニ「又ハ交叉」  
ヲ加フ

(理由) 總理局同章第九六五號ニ從フ

